



中央図書館 ☎258-6464

開館時間 / 10:00 ~ 19:00 (土・日・祝 18:00 まで)
休館日 / 毎週月曜日・月末 (土・日除く)

竹間沢分館 ☎274-1722

開館時間 / 11:00 ~ 18:00
休館日 / 毎週月曜日・月末 (土・日除く)

配本所 (中央公民館内) ☎258-0050

開館時間 / 9:00 ~ 22:00
休館日 / 原則第1月曜日 (中央公民館休館日)

※1/24 現在、中央図書館・竹間沢分館・配本所は一部利用制限を設けて開館中。
詳しくは中央図書館にお問い合わせください。

ウインタースポーツにまつわる本



一般書
『向かい風で飛べ!』
乾ルカ / 著
晴海耕平 / 訳
中央公論新社
2013年12月発行
請求記号 913.47

父親が農業を継ぐため、札幌から小さな町へ越した小学5年生のさつき。学校で孤独を感じていたさつきは、スキージャンプの天才でクラスメイトでもある理子から、「一緒にジャンプやらない?」と誘われて…。2人の少女の成長を描く、スポーツ・青春小説。

下記のイベント会場は全て中央図書館
申込みは中央図書館へ (先着順・電話可)。すべて無料。

大人のための図書館医療講座 (イムス三芳総合病院共催)

2月25日(金) 14:00 ~ 15:00 (受付 13:40 ~)

▶テーマ: 「大腸癌と患者学」 「腸内環境を整えよう!」
▶講師: イムス三芳総合病院 消化器外科 医師 八岡利昌氏ほか
▶定員: 大人 20人 ▶申込み: 受付中

大人のための落語に親しむ会

3月5日(土) 14:00 ~ 16:00 (受付 13:40 ~)

▶定員: 大人 20人
▶朗読: 出々亭笑虫 ▶内容: 古典落語「天狗裁き」「井戸の茶碗」
▶申込み: 2/16(水) 10:00 開始。

町の伝統芸能「竹間沢車人形」ミニ・シアター

3月27日(日) 14:00 ~ 15:30 (受付 13:40 ~)

▶会場: 藤久保公民館ホール ▶定員: 60人
▶出演: 竹間沢車人形保存会・三代目若松若太夫 (説経師)
▶演目: ①かぐや姫 (お子さんから楽しめます) ②伝統的車人形芝居 (説経師でストーリーを語ります)
▶申込み: 2/1(水) 10:00 開始。

蔵書点検休館のお知らせ

中央図書館・竹間沢分館・配本所は
2/7(月) ~ 2/15(火)まで蔵書点検のため休館です。



新型コロナワクチン追加接種(3回目)の注意事項

※1/18時点の情報

☎ 母子保健担当、三芳町新型コロナワクチン接種コールセンター ☎293-6636

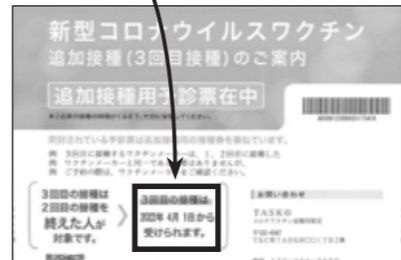
▶接種が受けられる日

■接種券に記載されている「3回目接種が受けられる日」は2回目接種終了後から8か月後の日付です。

■現在、接種間隔が前倒しされているため、記載されている日より前に接種が可能です。予約サイトで予約可能な日として表示されている日で予約を行っていただくと問題ありません。現在の接種間隔は下の表のとおりです。

▼2回目接種からの接種間隔

	2月~	3月~
65歳以上	6か月	6か月
64歳以下	8か月	7か月



接種券画像

① 65歳以上の人で2回目接種から7か月を経過する前に接種を希望する人は、3月以降 Web での予約ができません。

コールセンターのみの予約となりますのでご注意ください。

② 64歳以下の人で2回目の接種から7か月以上経過した人は3/1(火)から接種が可能となります。

▶予約確認票

■接種予約日時、医療機関などを記載した予約確認票の発行はおこなっていません。接種予約日時等を確認する場合は予約サイトの右上の「予約の確認・取消」(スマートフォンの場合はメニューボタン) から確認できます。

また、予約を取る際にメールアドレスを登録していただくと、予約内容等の確認メールを自動で送信します。「m6636@town.saitama-miyoshi.lg.jp」のメールを受信できるようにしてください。

▲ワクチン予約サイトトップページ画像

▶ワクチンの交差接種

■追加接種で使用するワクチンは「ファイザー社製」と「武田/モデルナ社製」です。1・2回目接種したワクチンに関わらず、追加接種ではどちらのワクチンも選択することが可能です。

※1・2回目と異なるワクチンを接種しても安全面没有问题との結果が出ています。

※ただし、10代、20代の男性については、「武田/モデルナ社製」ワクチン接種後に心筋炎、心膜炎を発症した件数が「ファイザー社製」よりも高い傾向が報告されています。

新型コロナワクチンの有効性・安全性に関する詳細は厚生労働省HPをご確認ください。



無料

はじめて子育て講座「ほっとサークル」~つばきコース~ 令和3年11~12月生まれの子どもと家族が対象

「こんな悩みは私だけ?」「近所で友達が欲しいな」というママ。赤ちゃんとふれあいながら、子育てについて一緒に考えていきませんか。2回連続の講座です。

▶日程: [1日目] 2/15(火)・[2日目] 2/22(火)

▶時間: 10:00 ~ 11:30

▶場所: 藤久保公民館 2階 和室

※コロナ感染拡大の影響により Zoom 開催となる可能性があります。

▶内容: ①ママ同士の交流・とことこ三芳町探検

②リラックス講座

▶定員: 先着 8組

▶持ち物: 母子健康手帳、筆記用具、バスタオル、おむつやミルクなど赤ちゃんの使うもの

▶申込み: ①件名「子育て講座申込み」②ママの氏名③住所④電話番号⑤子どもの氏名⑥子どもの生年月日⑦何番目の子どもかを記入して、電話・FAX・メールで母子保健担当まで申し込み。

みよし 歴史 探訪

文化財保護課 ☎258-16655

れきしとくらし 第十一回 節分

本来節分とは、立春や立夏、立秋に立冬の各季節の始まりの前日を指しますが、一般的には春の節分である二月三日の豆まきの日を指します。邪気や疫病など、目には見えない悪いものをオニと言い、「オニは外、福は内」のかけ声と共に豆をまいたり、オニが嫌うとされるヒイラギや火であぶったイワシの頭などを家の出入口に飾り、オニを払う行事です。

三芳町では二月三日(閏年には四日)に節分を行い、その年の年男が執り行います。お風呂で体を清め、よそ行きの着物を着た年男は、煎った大豆を入れた一升杓を携えて神棚に礼拝し、「福は内」と三回唱えます。その後、玄関を開けて「福は内」を三回叫び、最後に豆をひとつかみし、「オニは外」と叫んで放り投げました。次に家の中で東→西→南→北の方向へ順番に豆をまきました。使用する大豆は一合ほどを平たい鍋(ホウロク鍋)で煎ります。まき終えて残った大豆は歳の数だけ食べました。また、煎った大豆を温めておき、うどんもしくはご飯を釜と一緒に年神様の神棚へ供えた家もありました。

また、トボクチ(玄関)などの出入口にイワシの頭を囲炉裏の火で焼き、豆が刺したものとヒイラギを飾ります。イワシを焼くときは、唱え言しながらイワシの頭を唾をかけて焼きました。唱え言は各家で様々あり、「ナツパの虫もジリジリ、よろずの虫もジリジリ」。「アワノメガをジリジリ、大根のシンクイ虫をジリジリ、アオムシをジリジリ」。「オカボのズイムシコロコロ、アワのムシもコロコロ」などと唱えました。現在でも節分は多くの家で行われており、節分の日が近くなるとスーパーの食品売場で節分のセットが売られているのをよく目にします。皆さんも是非、オニを追い払って、一年を健やかに過ごしませんか?



▶豆が刺したイワシの頭とヒイラギ